

# ことぶき ゆめ会議ニュース

Vol.7

2011 年度 推進キャッチフレーズ / ことぶきスマイルネット

発行：ことぶきゆめ会議

ことぶきゆめ会議  
2年目！  
意見募集！！



今年は、どんな  
成功事例が  
聞けるかな??

3月の  
社会資源ツアーは  
不老町地域ケア  
プラザ



みんなで  
住みやすい寿町を  
考えよう！！

ことぶき  
福祉まつりが  
いよいよ復活か?!

## 【2月の ゆめ会議の内容】

2月 8日(水) 午前10時から

- 市職員からみた寿町
- 社会資源ツアー

- ① 高齢者ふれあいホーム 木楽な家
- ② 簡易宿泊所

ろばの家にも  
社会資源ツアーで  
来てね♪

今後の社会資源  
ツアーはどこに  
行こう?

## 講演会 『ことぶき学童保育から見た寿地区30年の変化』

1月11日(水)午前10時から自治労横浜会館2階の会議室にて、ことぶき学童保育指導員の山埜井先生を講師にお招きし、ことぶきゆめ会議主催の『ことぶき学童保育から見た寿地区30年の変化』と題した講演会が行われました。

関係者およそ30名が来場し、普段なかなか聞くことのできない、山埜井先生が寿地区の子供たちとの関わりを通して感じた30年を、エピソードを交えながらお話しいただきました。

当日のお話の中から、一部をご紹介します。

- ことぶき学童保育は、1983年に開設し、29年目を迎えます。来所しているのは幼児、小学生、中学生の子供たち。1日に30人近くが来所しています。
- 山埜井先生が寿町の子供と関わり続けているのは、エネルギーにあふれ、大人に縛られない自由な社会をもっていた子供たちに「惚れ込んだ」のが始まりでした。そして、さまざまな困難を抱えている子供たちに「何かをしてあげる」のではなく「受け止めよう」と思い、話を聞くことから始めました。今でも、学童保育だけでなく、1対1の勉強会の場を設けて勉強をしたり、悩みごとを聞いています。
- 寿の子供たちは、寿の中にいるだけではなく、積極的に外に出て行き、いろいろな環境の人たちと実際に関わりあうことに意味があると考えています。寿では、不登校の子が珍しくないですが、外に出る時になって後悔する若者も多いです。
- ことぶき学童保育は、寿の中にあるからこそ意味があります。炊出しなどを直接目にすることで、寿の外から来る子供たちに学べることがあります。
- 成長して若者になった子供たちも、さまざまな悩みごとを抱えています。これから先も受け止めていきたいと考えています。

